

すかがわSDGsクイズ（中学1・2年生向け）

Q1 ゴール11「住み続けられるまちづくりを」

須賀川市は阿武隈川^{はんらん}の氾濫など水害^{ひなんしや}の経験があります。災害に備えて、自分の住む地域の危険な場所や避難所^{ひなんしよ}を確認できるように、市が作成している地図があります。災害から命を守るために役立つこの地図を何と呼ぶでしょう？

- A：リスクチャート
- B：ハザードマップ
- C：エリアガイド



Q2 ゴール2「^{さが}飢餓をゼロに」

家庭で食べきれずに残ってしまった缶詰やお米、インスタント食品などを持ち寄り、福祉団体や必要としている人に届ける「フードドライブ」という活動を、須賀川市では行っています。これは食品ロス^{ふくし}を減らすだけでなく、どんな理由でSDGs目標2「^{さが}飢餓をゼロに」に関係しているでしょう？

- A：食べ物を海外に輸出できるから
- B：食べ物を観光客に販売できるから
- C：食べ物を必要とする人に届け、栄養を補うから



Q3 ゴール13「気候変動に具体的な対策を」

須賀川市の公共施設全体で、令和5年度から6年度にかけて電力使用量が561,000kWh減りました。これは、家庭の電力使用量、約何世帯分に相当するでしょう？

- A：約1300世帯分
- B：約130世帯分
- C：約13世帯分



Q4 ゴール8「働きがいも経済成長も」

須賀川市では起業を目指す人が市民交流センター tette^{ふたん}を使って、少ない負担^{けんたん}でお店を試しに開ける場所があります。新しい働き方や雇用^{こよう}を生み出し、地域経済の活性化につながるこの仕組みの名前は？

- A：スタートストア
- B：トライアルスペース
- C：チャレンジショップ



Q5 ゴール12「つくる責任 つかう責任」

令和7年4月から須賀川市では、ごみの分け方が新しくなりました。プラスチック製の容器や包装^{しげん}を「資源」として分けることになりましたが、分別する一番の目的は何でしょう？

- A：ごみを増やして経済を活性化するため
- B：プラスチックを燃やして花火にするため
- C：資源をリサイクルして再利用するため



Q6 ゴール3「すべての人に健康と福祉を」

毎年10月に行われる「円谷幸吉メモリアルマラソン」は、須賀川出身で日本を代表するマラソン選手・円谷幸吉^{こうせき}さんの功績をたたえる大会です。円谷さんは1964年に行われた、ある大会の男子マラソンで銅メダルを獲得しました。さて、その大会は何だったでしょう？

- A：東京オリンピック
- B：北京オリンピック
- C：ロンドンオリンピック

